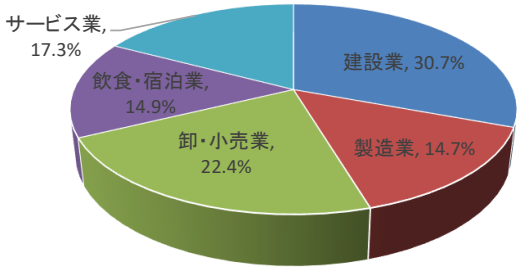
十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書（R3.10.1～R3.12.31）松之山地区

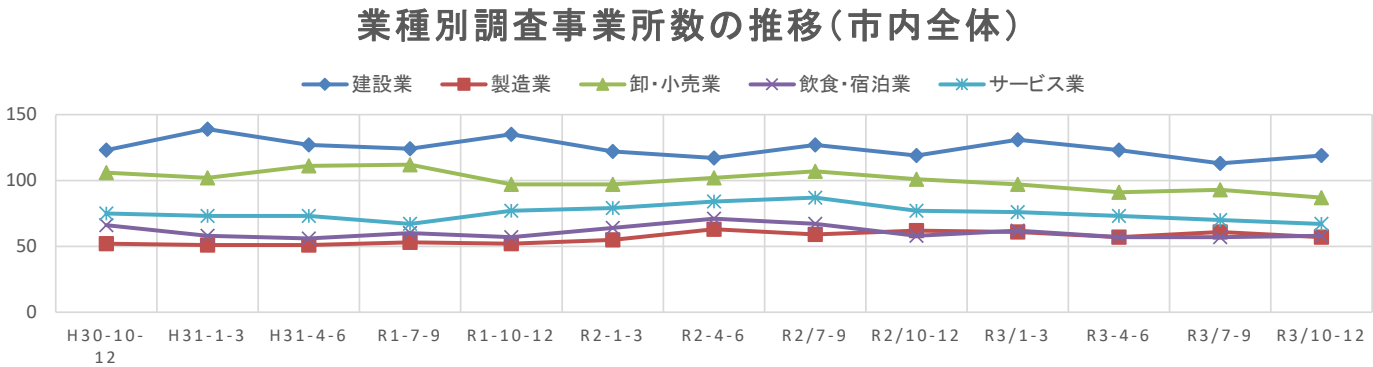
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜十日町市内全体＞

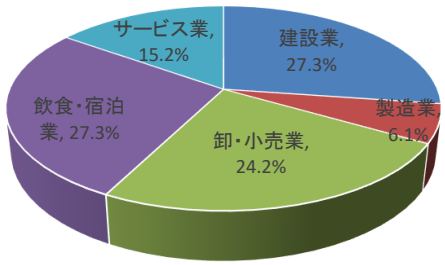


	事業者数	構成比
建設業	119	30.7%
製造業	57	14.7%
卸・小売業	87	22.4%
飲食・宿泊業	58	14.9%
サービス業	67	17.3%
全業種合計	388	100.0%

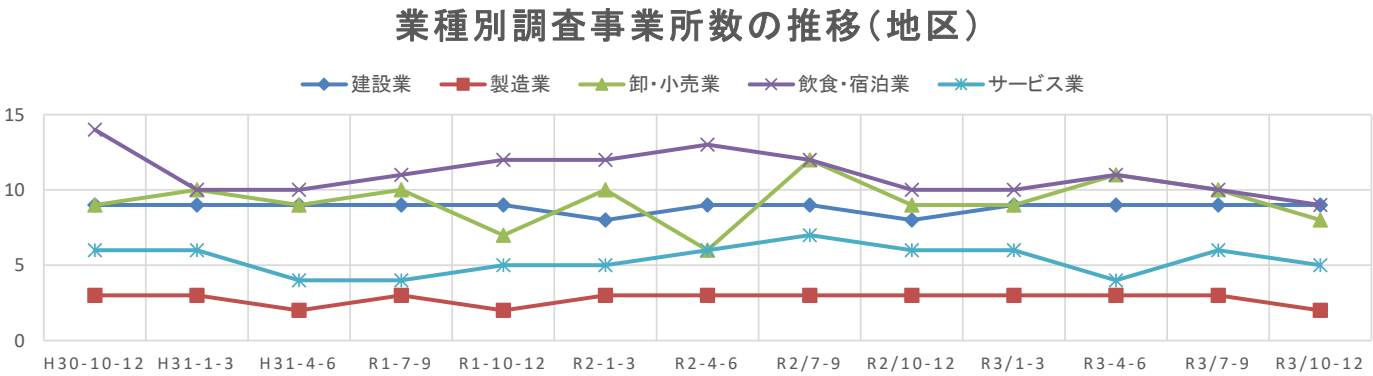


＜コメント＞
　今回の調査は、十日町市内388事業所から回答を得られ、前回調査よりも6事業者減少している。製造業と卸・小売業、サービス業において減少があったものの、構成比については大きな差はないものとなっている。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	9	27.3%
製造業	2	6.1%
卸・小売業	8	24.2%
飲食・宿泊業	9	27.3%
サービス業	5	15.2%
全業種合計	33	100.0%



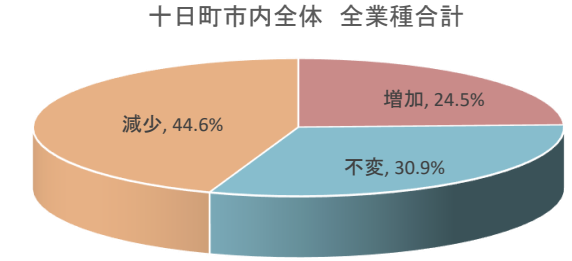
＜コメント＞
　松之山地区の今期の調査回答状況は、配布61事業所の内33事業所から回答があり、回収率は54.1％であった。建設業以外の業種で回答数が減っているが、業種別割合は大きな変動は無いものとなっている。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

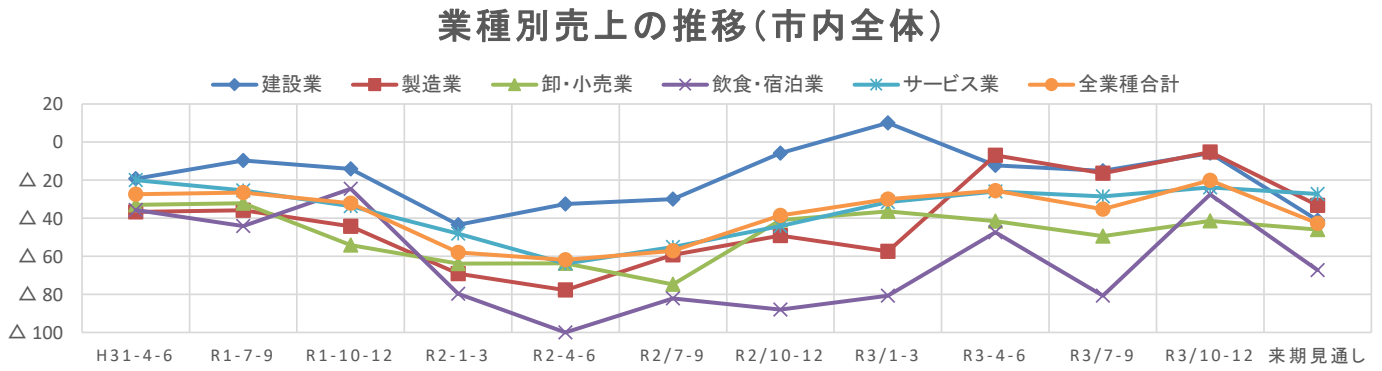
１．売上について

・１０月～１２月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

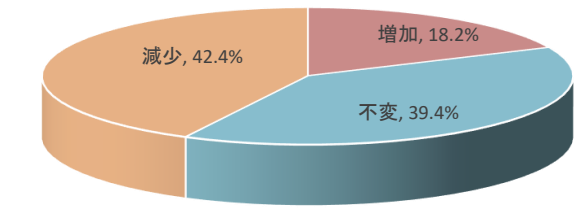


	増加 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	29.4%	35.3%	35.3%	△ 5.9	△ 15.0	△ 41.2
製造業	29.8%	35.1%	35.1%	△ 5.3	△ 16.4	△ 33.3
卸・小売業	13.8%	31.0%	55.2%	△ 41.4	△ 49.5	△ 46.0
飲食・宿泊業	24.1%	24.1%	51.7%	△ 27.6	△ 80.7	△ 67.2
サービス業	25.4%	25.4%	49.3%	△ 23.9	△ 28.6	△ 27.3
全業種合計	24.5%	30.9%	44.6%	△ 20.1	△ 35.3	△ 42.6

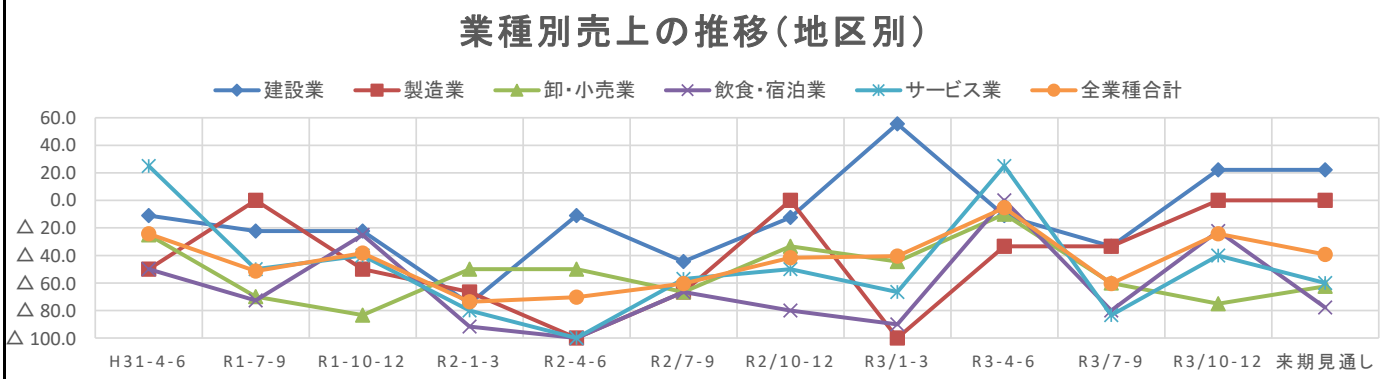


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△20.1ポイントで、前回調査時よりも15.2ポイント上昇となっている。全業種が上昇する中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しでは、コロナ関連に伴う先行き不透明感があるものと思料され、全業種で低下予測となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	33.3%	55.6%	11.1%	22.2	△ 33.3	22.2
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 33.3	0.0
卸・小売業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 60.0	△ 62.5
飲食・宿泊業	22.2%	33.3%	44.4%	△ 22.2	△ 80.0	△ 77.8
サービス業	20.0%	20.0%	60.0%	△ 40.0	△ 83.3	△ 60.0
全業種合計	18.2%	39.4%	42.4%	△ 24.2	△ 60.5	△ 39.4

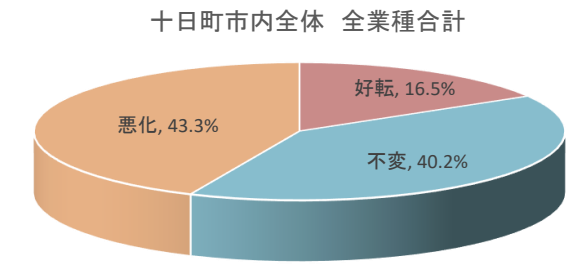


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△24.2ポイントで、前回調査時よりも36.3ポイント増加となった。卸・小売業のみ減少となっているが、その他の業種で増加があり全体の数値を引き上げている。来期見通しでは、飲食・宿泊業にて大きな減少予測があり、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大による観光入込客の減少による影響とみている。

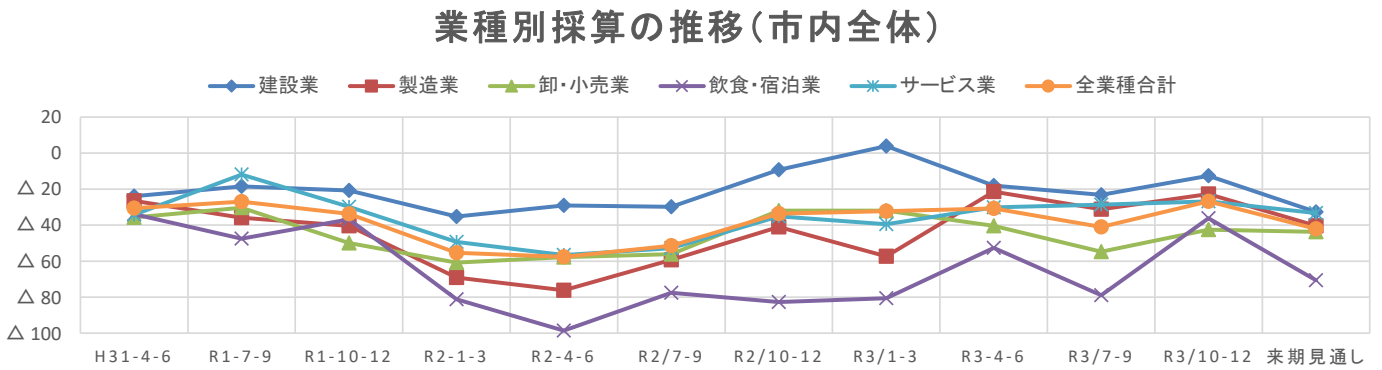
２．採算について

・１０月～１２月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

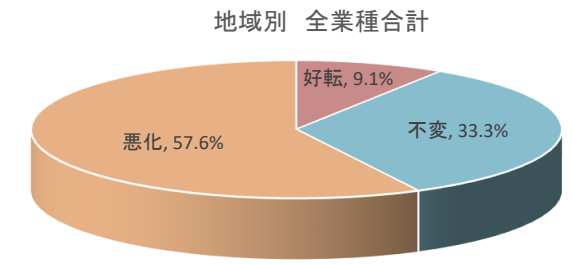


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	20.2%	47.1%	32.8%	△ 12.6	△ 23.2	△ 32.8
製造業	19.3%	38.6%	42.1%	△ 22.8	△ 31.1	△ 40.4
卸・小売業	10.3%	36.8%	52.9%	△ 42.5	△ 54.8	△ 43.7
飲食・宿泊業	15.5%	32.8%	51.7%	△ 36.2	△ 78.9	△ 70.7
サービス業	16.4%	40.3%	43.3%	△ 26.9	△ 28.6	△ 33.3
全業種合計	16.5%	40.2%	43.3%	△ 26.8	△ 41.0	△ 42.1

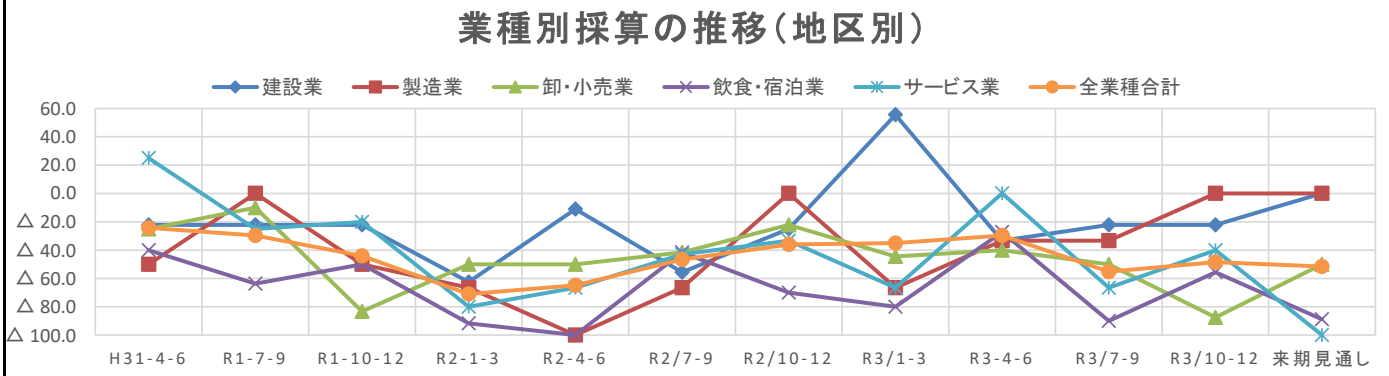


＜コメント＞　十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△26.8ポイントで、前回調査より14.2ポイント改善している。全業種において改善され、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。しかし、来期見通しでは、全業種が悪化予測の中、特に飲食・宿泊業の割合が高く、全業種DI値についても悪化見通しとなる。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	22.2%	33.3%	44.4%	△ 22.2	△ 22.2	0.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 33.3	0.0
卸・小売業	0.0%	12.5%	87.5%	△ 87.5	△ 50.0	△ 50.0
飲食・宿泊業	11.1%	22.2%	66.7%	△ 55.6	△ 90.0	△ 88.9
サービス業	0.0%	60.0%	40.0%	△ 40.0	△ 66.7	△ 100.0
全業種合計	9.1%	33.3%	57.6%	△ 48.5	△ 55.3	△ 51.5

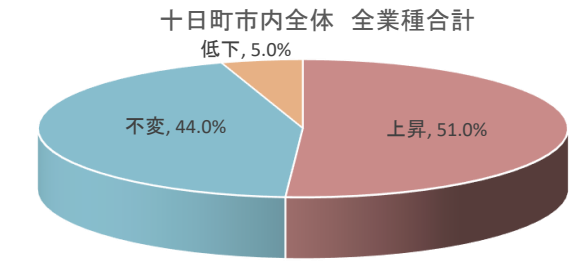


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△48.5ポイントで、前回調査時よりも6.8ポイント好転となったが、売上状況ほどの好転につながっていない。飲食・宿泊業とサービス業で好転が見られたが、売上状況と同様で卸・小売業で大きな悪化があり、全体数値の変動が少なかった。来期見通しでは卸・小売業にて好転予測があるものの、飲食・宿泊業とサービス業で悪化予測があり、全業種DIも悪化予測となっている。

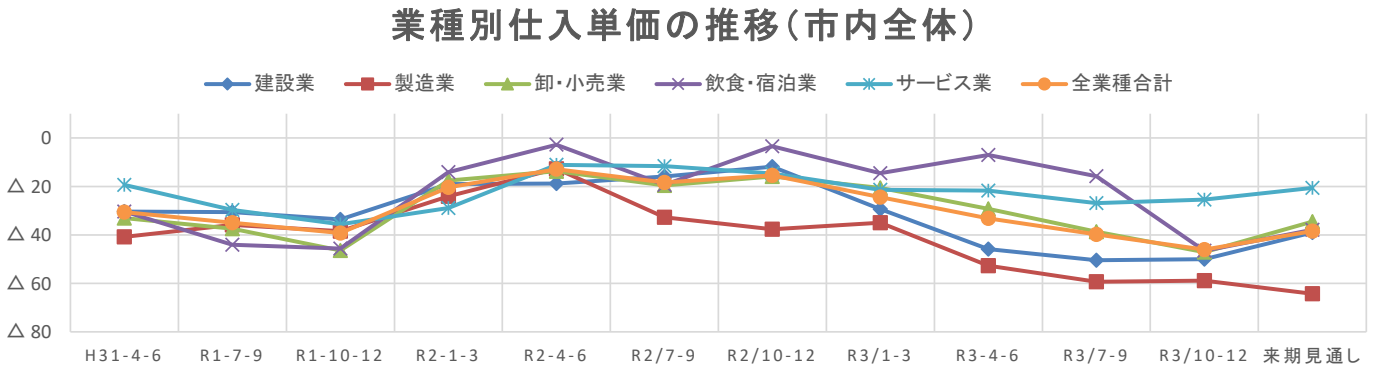
３．仕入単価について

・１０月～１２月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

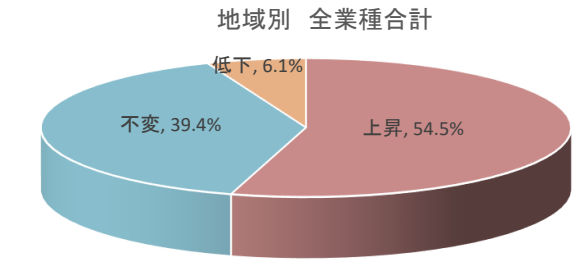


	上昇 %	不変 %	低下 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	55.1%	39.8%	5.1%	△ 50.0	△ 50.5	△ 39.0
製造業	60.7%	37.5%	1.8%	△ 58.9	△ 59.3	△ 64.3
卸・小売業	51.7%	43.7%	4.6%	△ 47.1	△ 38.7	△ 34.5
飲食・宿泊業	55.2%	36.2%	8.6%	△ 46.6	△ 15.8	△ 37.9
サービス業	30.2%	65.1%	4.8%	△ 25.4	△ 26.9	△ 20.6
全業種合計	51.0%	44.0%	5.0%	△ 46.1	△ 39.8	△ 38.5

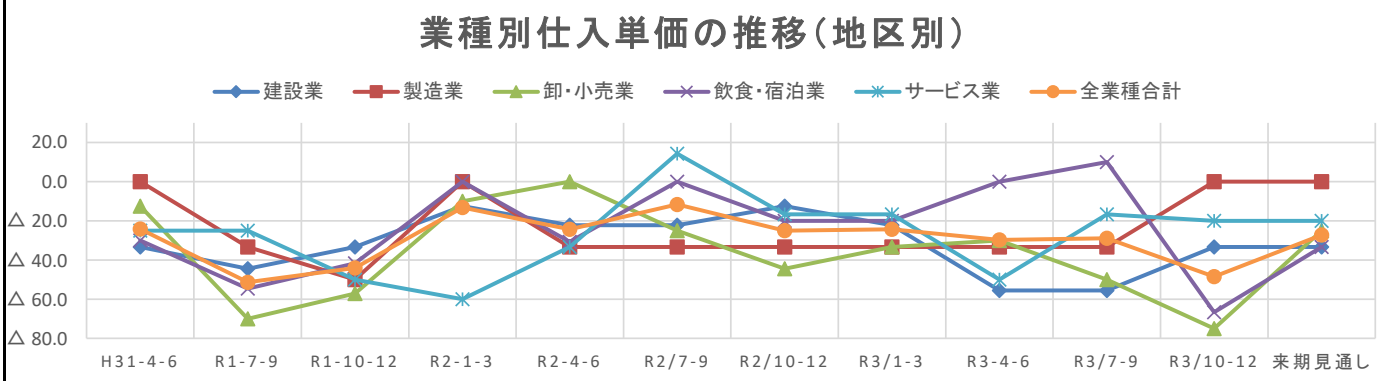


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△46.1ポイントで、前回調査時よりも6.3ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。卸・小売業、飲食・宿泊業で仕入単価の上昇が目立った。来期見通しとしては、製造業以外の業種で仕入単価が低下する予測となり、全業種DI値においても仕入単価低下の見通しである。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	55.6%	22.2%	22.2%	△ 33.3	△ 55.6	△ 33.3
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 33.3	0.0
卸・小売業	75.0%	25.0%	0.0%	△ 75.0	△ 50.0	△ 25.0
飲食・宿泊業	66.7%	33.3%	0.0%	△ 66.7	10.0	△ 33.3
サービス業	20.0%	80.0%	0.0%	△ 20.0	△ 16.7	△ 20.0
全業種合計	54.5%	39.4%	6.1%	△ 48.5	△ 28.9	△ 27.3

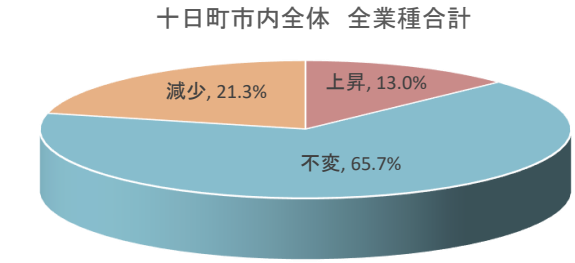


＜コメント＞　松之山地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△48.5ポイントで、前回調査時よりも19.6ポイント単価上昇となっている。卸・小売業と飲食・宿泊業で大きな上昇が見られ、小麦粉製品や食用油の値上げが直接影響しているものと思われる。来期見通しでは今期よりも減少予測されていることもあり、今後の動向に注視したいところである。

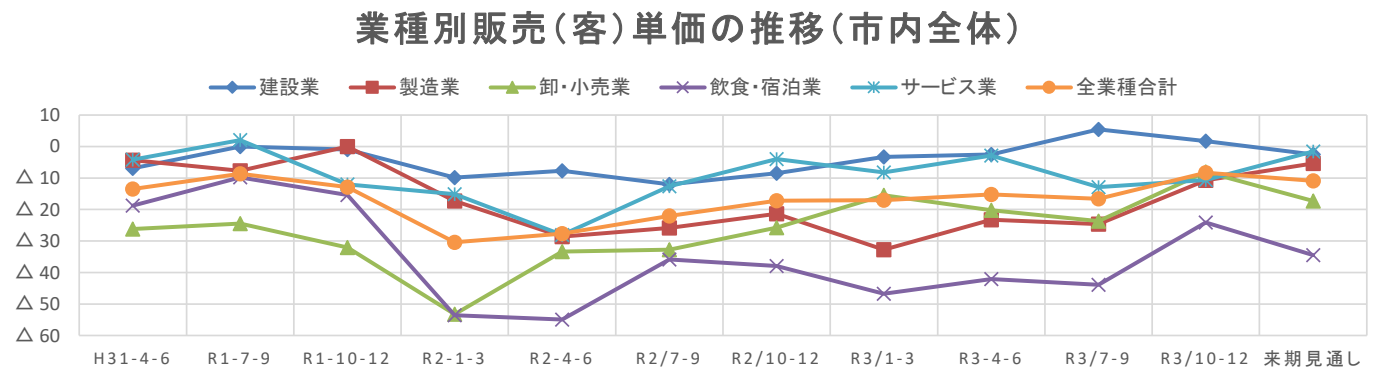
４．販売（客）単価について

・１０月～１２月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

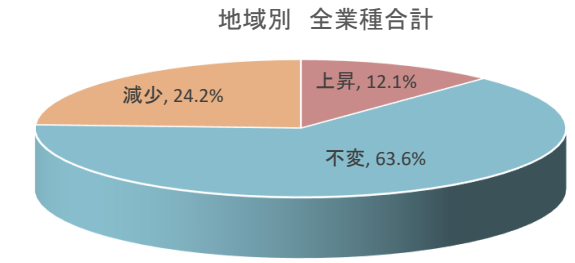


	上昇 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来　期 見通しDI
建設業	15.3%	71.2%	13.6%	1.7	5.5	△ 2.5
製造業	10.7%	67.9%	21.4%	△ 10.7	△ 24.6	△ 5.4
卸・小売業	17.2%	57.5%	25.3%	△ 8.0	△ 23.7	△ 17.2
飲食・宿泊業	10.3%	55.2%	34.5%	△ 24.1	△ 43.9	△ 34.5
サービス業	7.6%	74.2%	18.2%	△ 10.6	△ 12.9	△ 1.5
全業種合計	13.0%	65.7%	21.3%	△ 8.3	△ 16.6	△ 10.9

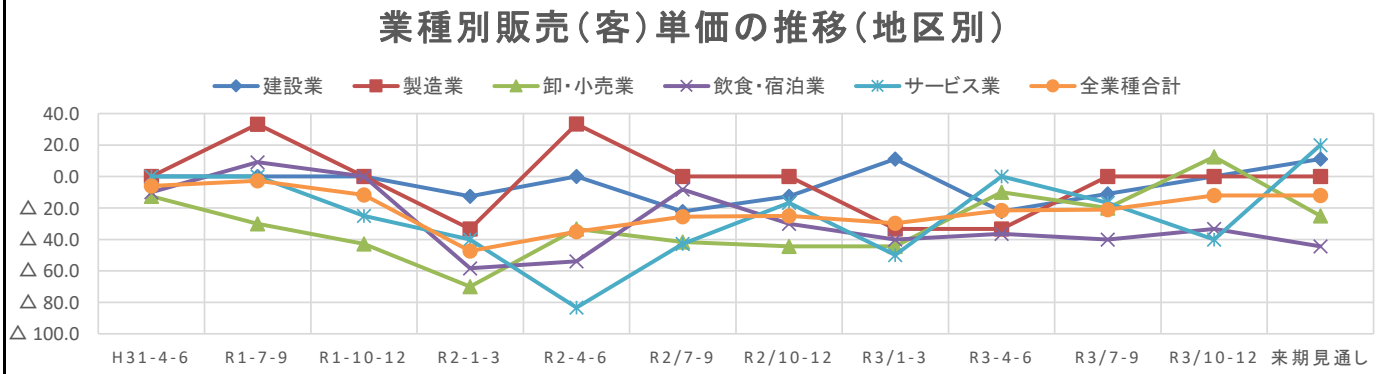


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△8.3ポイントで、前回調査時より8.3ポイント上昇している。建設業以外の業種が軒並み数値が上昇している。来期に関しては、製造業、サービス業で上昇予測となるが、その他の業種では、低下予測となる。また、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来　期 見通しDI
建設業	11.1%	77.8%	11.1%	0.0	△ 11.1	11.1
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業	25.0%	62.5%	12.5%	12.5	△ 20.0	△ 25.0
飲食・宿泊業	11.1%	44.4%	44.4%	△ 33.3	△ 40.0	△ 44.4
サービス業	0.0%	60.0%	40.0%	△ 40.0	△ 16.7	20.0
全業種合計	12.1%	63.6%	24.2%	△ 12.1	△ 21.1	△ 12.1

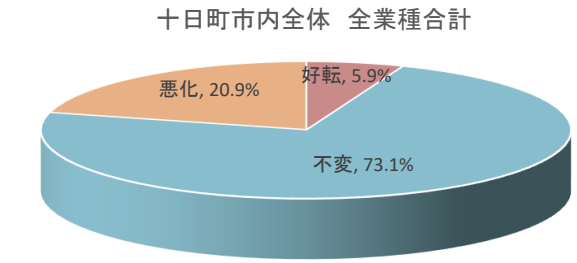


＜コメント＞　松之山地区の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△12.1ポイントで、前回調査時よりも9.0ポイント上昇となった。サービス業にて減少があったものの、その他の業種では上昇となっている。来期見通しでの全業種DIでは大きな変動は無いが、サービス業では上昇予測されているものの、卸・小売業と飲食・宿泊業で減少予測されており、実際の数値に注目したい。

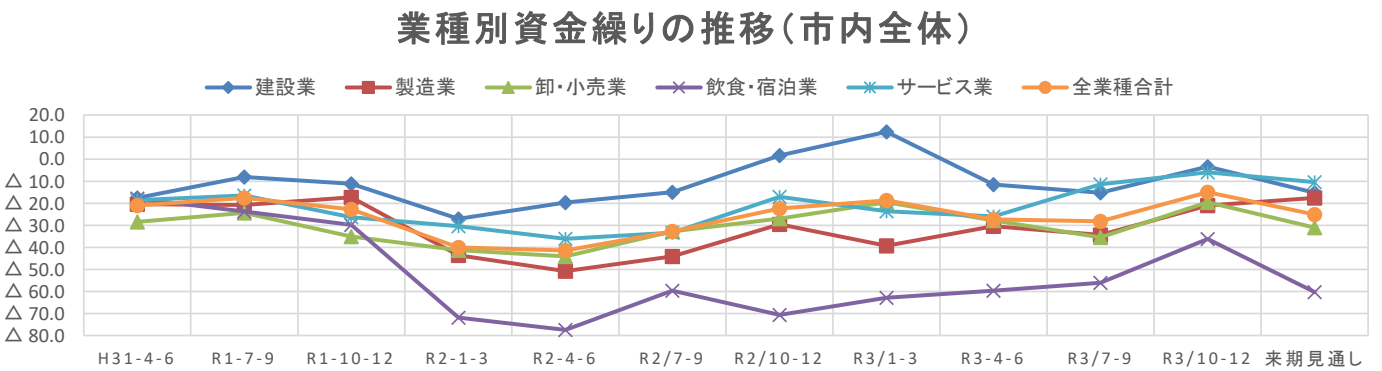
5．資金繰りについて

・１０月～１２月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

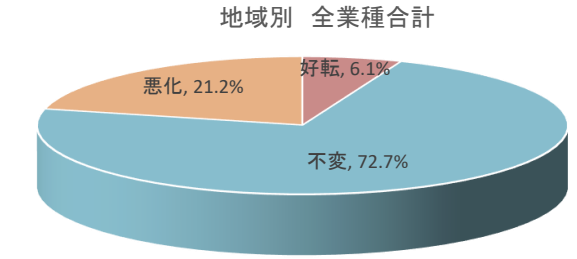


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	8.5%	79.7%	11.9%	△ 3.4	△ 15.2	△ 15.3
製造業	3.5%	71.9%	24.6%	△ 21.1	△ 34.4	△ 17.5
卸・小売業	3.4%	73.6%	23.0%	△ 19.5	△ 35.5	△ 31.0
飲食・宿泊業	6.9%	50.0%	43.1%	△ 36.2	△ 56.1	△ 60.3
サービス業	6.0%	82.1%	11.9%	△ 6.0	△ 11.4	△ 10.4
全業種合計	5.9%	73.1%	20.9%	△ 15.0	△ 28.2	△ 25.1

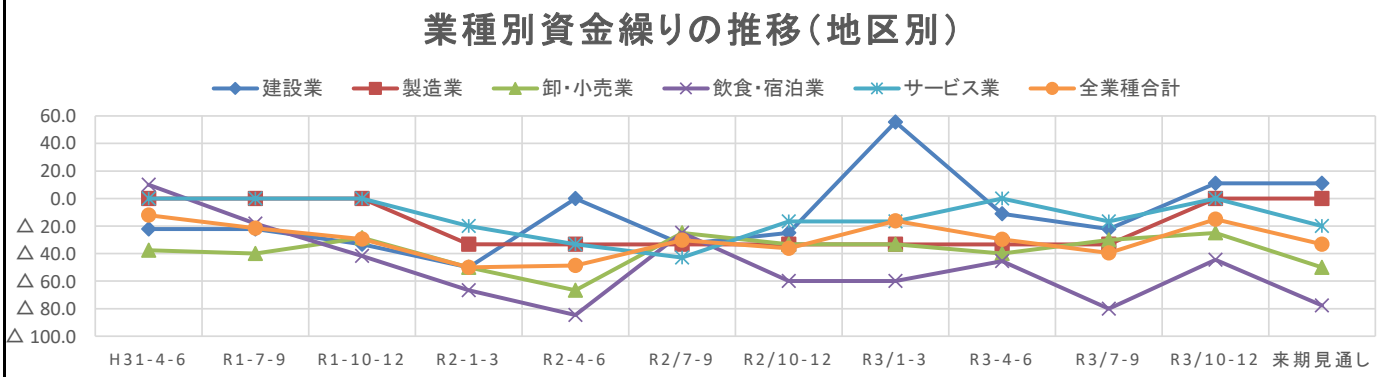


＜コメント＞　十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.0ポイントで、前回調査時より13.2ポイント改善している。全業種において改善が見受けられる中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しとしては、製造業が若干の改善予測であるが、その他業種では、悪化予測となる。また、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	22.2%	66.7%	11.1%	11.1	△ 22.2	11.1
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 33.3	0.0
卸・小売業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 30.0	△ 50.0
飲食・宿泊業	0.0%	55.6%	44.4%	△ 44.4	△ 80.0	△ 77.8
サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 16.7	△ 20.0
全業種合計	6.1%	72.7%	21.2%	△ 15.2	△ 39.5	△ 33.3

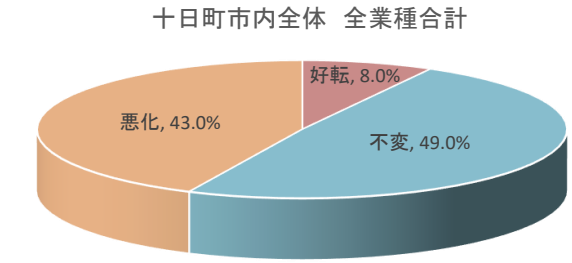


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.2ポイントで、前回調査時よりも24.3ポイント好転している。全ての業種で前回調査時より好転しているが、来期見通しでは卸・小売業と飲食・宿泊業、サービス業で悪化予測されており、全業種DIも悪化予測となっている。

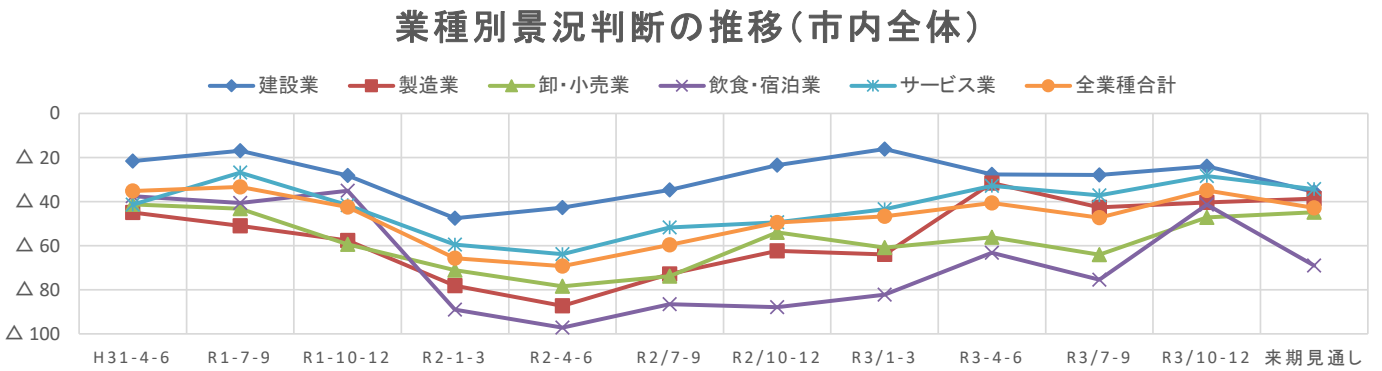
６．景況判断について

・１０月～１２月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

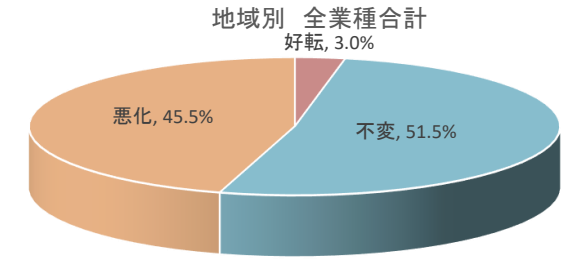


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	7.7%	60.7%	31.6%	△ 23.9	△ 27.9	△ 35.6
製造業	10.5%	38.6%	50.9%	△ 40.4	△ 42.6	△ 38.6
卸・小売業	6.9%	39.1%	54.0%	△ 47.1	△ 64.1	△ 44.8
飲食・宿泊業	8.6%	41.4%	50.0%	△ 41.4	△ 75.4	△ 69.0
サービス業	7.5%	56.7%	35.8%	△ 28.4	△ 37.1	△ 34.3
全業種合計	8.0%	49.0%	43.0%	△ 35.0	△ 47.3	△ 42.9

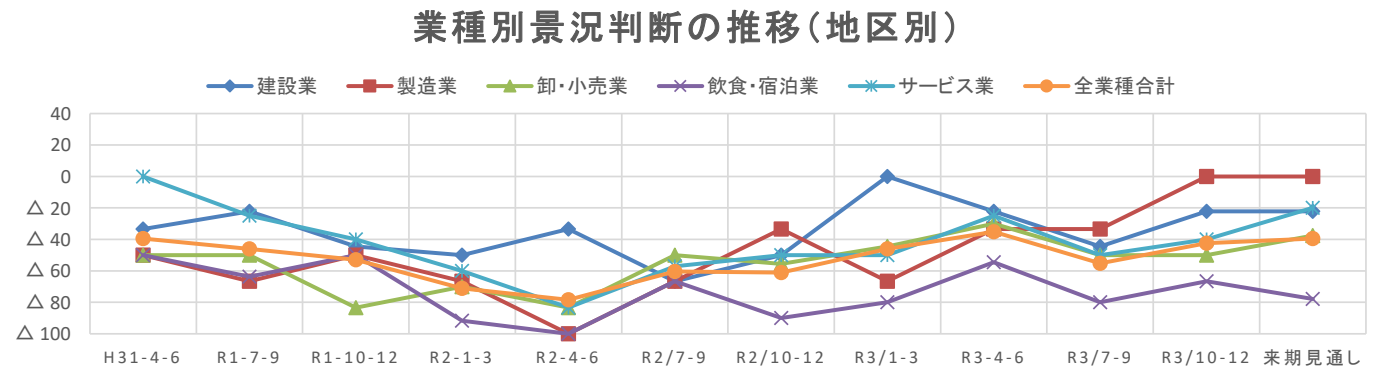


＜コメント＞　十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△35.0ポイントで、前回調査時よりも12.3ポイント改善している。全業種において改善が見受けられる中、特に飲食・宿泊業の割合が大きくなっている。来期見通しは、コロナ関連の先行き不透明感がある中、原料や燃料の高騰も懸念されると思料し、製造業、卸・小売業以外の業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しである。今後の動向に注視したい。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	11.1%	55.6%	33.3%	△ 22.2	△ 44.4	△ 22.2
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	△ 33.3	0.0
卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 37.5
飲食・宿泊業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 80.0	△ 77.8
サービス業	0.0%	60.0%	40.0%	△ 40.0	△ 50.0	△ 20.0
全業種合計	3.0%	51.5%	45.5%	△ 42.4	△ 55.3	△ 39.4

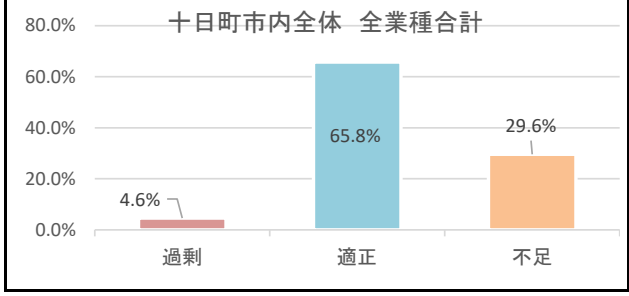


＜コメント＞　松之山地区の今期の景況破断状況は、全業種DI値で△42.4ポイントで、前回調査時よりも12.9ポイント好転している。業種別では卸・小売業のみ横ばいで、その他の業種は好転している。来期見通しでは卸・小売業とサービス業で上昇予測があるものの、飲食・宿泊業で悪化予測されており、全業種DIはあまり大きな変動がない。

７．従業員数について

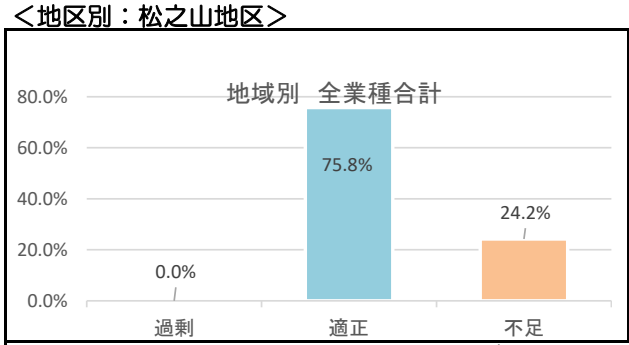
・１０月～１２月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞



	過剰 %	適正 %	不足 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	1.8%	44.0%	54.1%	△ 52.3	△ 61.1	△ 49.5
製造業	14.0%	73.7%	12.3%	1.8	△ 5.0	0.0
卸・小売業	6.1%	73.2%	20.7%	△ 14.6	△ 10.3	△ 17.1
飲食・宿泊業	1.9%	75.5%	22.6%	△ 20.8	△ 16.4	△ 24.5
サービス業	1.5%	77.6%	20.9%	△ 19.4	△ 10.0	△ 17.9
全業種合計	4.6%	65.8%	29.6%	△ 25.0	△ 24.7	△ 25.3

＜地区別：松之山地区＞

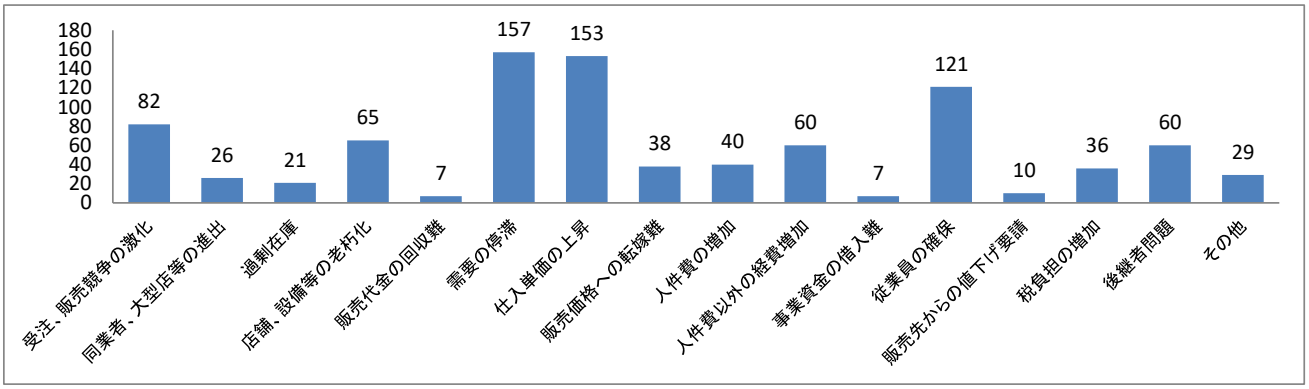


	過剰 %	適正 %	不足 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	0.0%	44.4%	55.6%	△ 55.6	△ 55.6	△ 55.6
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
飲食・宿泊業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 20.0	△ 33.3
サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
全業種合計	0.0%	75.8%	24.2%	△ 24.2	△ 18.4	△ 24.2

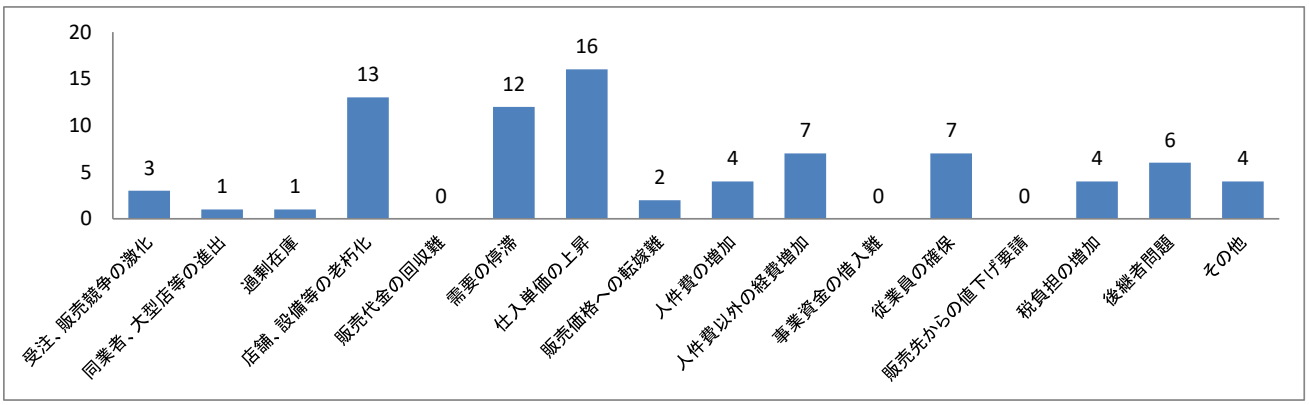
＜コメント＞　今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が0.9%減少、不変回答が1.6%増加、不足回答が0.7%前回調査時よりも減少している。
松之山地区の状況は、過剰と回答した事業所は無く、建設業と飲食・宿泊業で不足回答があり、不足割合も前回調査時より3.1%増加している。来期見通しも同数値の回答があり、人材不足状況が続くものと思われる。

８．経営上の問題点（上位３つ）：１０月～１２月

十日町市内全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今回調査での経営上の問題点は、１位が「需要の停滞」、２位が「仕入単価の上昇」、３位が「従業員の確保」、４位が「受注、販売競争の激化」と変わらなかった。
　松之山地域の経営上の問題は、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「店舗、設備等の老朽化」、3位が「需要の停滞」となっており、調査開始後、1位となっていた「需要の停滞」に代わり、「仕入単価の上昇」が一番多く問題視されている。

９．地区の景況概要

・１０月～１２月時点での全体概況は

【建設業】

松之山地区の今期の建設業の状況は、売上状況にて増加が見られたものの仕入単価の上昇が影響してか、採算状況は変動がないものとなっている。来期見通しでは全ての項目で今期とあまり変動がないものと予測されており、景況判断も今期と同様であると思われる。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」と「従業員の確保」が多く回答されており、燃料価格の高騰による影響を受けていることがわかる。

【製造業】

松之山地区の今期の製造業の状況は、売上状況、採算状況にて増加（好転）が見られるように思われるが、サンプル数が少ないための結果であり、実際は大きな変動は無いものと思われる。来期見通しも大きな変動は無いものと予測されている。経営上の問題点では、「人件費の増加」が回答されており、最低賃金の引き上げが影響しているものと思われる。

【卸・小売業】

松之山地区の今期の卸・小売業の状況は、販売（客）単価で上昇が見られたものの、売上状況、採算状況で悪化があり、仕入単価の上昇も加わって厳しい状況と言える。来期見通しでは仕入単価の減少予測があるが、販売（客）単価の減少予測もあり資金繰りも悪化予測となっている。経営上の問題点では、依然「需要の停滞」も多く回答されてはいるものの、「仕入単価の上昇」が一番多く回答されていた。

【飲食・宿泊業】

松之山地区の今期の飲食・宿泊業の状況は、緊急事態宣言後の紅葉時期でもあり、売上状況で大きな増加があったものの、仕入単価の上昇もあり、景況判断は微増であった。来期見通しでは、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株による全国的な感染拡大があり、全ての項目で悪化予測となっている。経営上の問題点では前回同様、「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」が多く回答されている。

【サービス業】

松之山地区の今期のサービス業の状況は、売上状況で増加が見られ、採算状況、景況判断も好転となっている。来期見通しでは売上の減少予測があり、資金繰り状況の悪化予測が出ている。経営上の問題点では、「需要の停滞」と「後継者問題」が多く回答されている。